

YONAGUNI AIRPORT

■空港の概況

与那国空港は、昭和18年6月旧日本軍により建設された。昭和32年8月から民間航空による運航が開始され、翌年4月滑走路等が拡張整備された。昭和43年9月に滑走路乳剤舗装工事等が完成し、同年12月からYS-11型機が就航した。

昭和47年の本土復帰に伴い、国の航空法が適用されたことにより、進入表面が同法の規定に抵触したため滑走路の短縮運用となり、昭和50年3月滑走路800mで供用開始した。

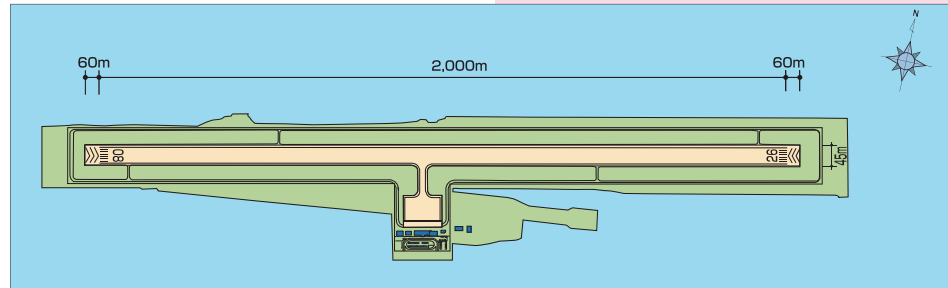
その後、航空需要の増大や機材の大型化に対応するため、YS-11型機対応空港として昭和62年2月滑走路1,500mで供用開始し、また平成9年5月同機材の退役と航空需要の増大に対応するため、施設変更許可を受け、平成11年7月暫定ジェット化空港として供用開始した。

さらに、平成19年3月本格ジェット化空港として滑走路2,000mで供用開始した。

■位置図



■平面図



▲ターミナルビル

■沿革

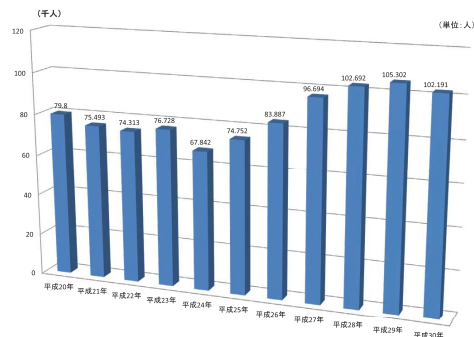
- S.18. 6 旧日本軍により建設
- S.32. 8. 1 民間航空機運航開始
- S.47.11.14 飛行場現況届告示
(R/W 1,232m)
- S.48. 1.25 与那国空港設置許可
(R/W 800m、設置者：沖縄県)
- S.48. 2.27 第三种空港に政令指定
供用開始 (R/W 800m)
- S.50. 3.15 施設変更
(R/W 800m→1,500m) 許可
- S.62. 2.12 供用開始 (R/W 1,500m)
- H. 9. 5.29 施設変更 (R/W強度8.5t→18.3t) 許可
- H.11. 7.16 供用開始 (R/W強度18.3t (暫定ジェット化))
- H.14.12.20 施設変更
(R/W 1,500m→2,000m) 許可
- H.19. 3.15 供用開始 (R/W 2,000m)
- H.20. 6.18 地方管理空港に政令指定 (法改正に伴う)

■空港諸元

項目	概	要
種別	地方管理空港	
設置管理者	沖縄県	
所在地	八重山郡与那国町	
標点位置	北緯24° 28' 03" 東経122° 58' 47"	
標高	15.0m	
空港面積	582,411㎡	
着陸帯	2,120m×150m	C級
滑走路	2,000m×45m	LA-3 N75°16'27"E：真方位
誘導路	80m×23m	
エプロン	10,200㎡	小型ジェット機用 2/ベース
航空灯火	簡易式進入灯、飛行場灯台、進入角指示灯、滑走路灯、滑走路末端識別灯、滑走路中心線灯、誘導路灯、風向灯、進入路指示灯 等	
航行援助施設	VOR/DME、ILS (LLZ)、T-DME	
駐車場	2,946㎡	80台
Tビル面積	1,397.60㎡	
運用時間	8:00~19:30 (11.5時間)	

■航空輸送実績

旅客数の推移



貨物量の推移



※平成19年度10月以降、郵政民営化に伴う郵政法改正により小包郵便及び速達郵便は貨物扱いとなった。

■路線別就航状況

(令和2年1月現在)

路線	航空会社	就航機種	日便数	所要時間
那覇	RAC	DHC-8	1	1時間20分
石垣	RAC	DHC-8	3	30分

市町村概況

行政区	人口(人) (H30.1.1現在)	世帯数(世帯) (H30.1.1現在)	面積(km ²) (H30.1.0.1現在)
与那国町	1,709	929	28.96